

岩見沢市新病院エネルギーサービス事業に係る
公募型プロポーザル審査結果報告書

令和6年4月

岩見沢市新病院エネルギーサービス事業に係る
公募型プロポーザル審査委員会

岩見沢市新病院エネルギーサービス事業に係る
公募型プロポーザル審査委員会

委員長 石橋 達勇
副委員長 笥 淳夫
委員 渡辺 亮
小倉 滋明
高橋 典彦
原田 和幸
坂野 靖文
池田 文隆

1 審査結果

岩見沢市新病院エネルギーサービス事業に係る公募型プロポーザル審査委員会（以下、「審査委員会」という。）は、審査を厳正かつ公正に行った結果、次の者を優先交渉権者及び次点者に特定しました。

優先交渉権者 日本ファシリティ・ソリューション株式会社
次点者 東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

2 技術提案書等の提出までの経過

(1) プロポーザル実施方法等の決定

令和5年12月27日（水）に第1回審査委員会を開催し、委員7名の出席のもと、岩見沢市新病院エネルギーサービス事業に係る公募型プロポーザル実施要領、各種様式、要求水準書、評価基準及び配点などについて決定しました。

(2) 公告

令和5年12月27日（水）に岩見沢市新病院エネルギーサービス事業に係る公募型プロポーザルの実施について、岩見沢市立総合病院ホームページに掲載しました。

(3) 参加表明に関する質疑の提出及び回答

令和5年12月27日（水）から令和6年1月12日（金）までに4者から50件の質疑の提出があり、令和6年1月16日（火）に岩見沢市立総合病院ホームページに回答を掲載しました。

(4) 参加表明書等の提出

令和6年1月16日（火）から1月22日（月）の期間に2者から参加表明書等の提出がありました。

(5) 参加資格要件の審査結果通知及び技術提案書等の提出要請

参加表明書等の提出があった2者について、審査委員により書面審査を行った結果、参加資格要件を満たすと認められたことから、令和6年1月26日（金）に2者に対し、技術提案書等の提出要請を行いました。

(6) 基本設計書（案）の配付

令和6年1月26日（金）から2月2日（金）の期間に、岩見沢市新病院建設工事基本設計書（案）を2者へ配付しました。

(7) 技術提案に関する質疑の提出及び回答

令和6年1月26日（金）から2月2日（金）までに2者から83件の質疑の提出があり、事務局回答案について審査委員により書面審査を行い、令和6年2月9日（金）に岩見沢市立総合病院ホームページに回答を掲載しました。

(8) 辞退届の提出

辞退届の提出期限である令和6年2月16日（金）までに、辞退届の提出はありませんでした。

(9) 技術提案書等の提出

技術提案書等の提出期限である令和6年3月26日（火）までに、2者から技術提案書等の提出がありました。

3 プレゼンテーション及びヒアリング並びに審査の経過

(1) プレゼンテーション及びヒアリングの経過

プレゼンテーション及びヒアリングは、令和6年4月10日（水）に開催した第2回審査委員会において、委員5名の出席のもと、次の手順で実施しました。

ア) はじめに、委員に事前配付した匿名の技術提案書等（無作為にA者、B者と標記）の内容について、相互に理解を深めるために、出席した全委員で技術提案書等を読み込み、意見交換を行いました。

イ) 次に、2者によるプレゼンテーション及びヒアリングを実施しました。プレゼンテーションは、技術提案書等に記載された内容のうち特にアピールしたい点について15分以内で説明を求めた後、委員との間で25分間のヒアリング（質疑応答形式）を実施しました。

(2) 審査の経過

ア) 2者のプレゼンテーション及びヒアリングが終了した後、提案について出席した全委員で理解を深めるために再度意見交換を行いました。その後、各委員による採点を行い、実施体制及び技術提案の評価点を算出しました。

結果は、下記の表のとおりとなりました（小数第3位を切り捨て）。

評価項目		配点	A者	B者	
区分	項目				
実施体制	受注実績	病院等におけるES事業の受注実績[定性評価]	5点	3.00点	4.75点
		多雪地域における実績の有無[定量評価]	5点	5.00点	5.00点
	各業務の実施体制		10点	7.50点	9.50点
	サポート・メンテナンス体制		15点	11.25点	14.25点
技術提案	信頼性の向上		15点	8.25点	14.25点
	省エネルギー性の向上及び環境への配慮		20点	14.00点	18.00点
	コスト削減への取組		20点	13.00点	17.00点
	立地特性への適応		20点	11.00点	18.00点
	その他の取組		20点	13.00点	18.00点
経済性	概算事業費（価格点A）		50点	50.00点	30.86点
	概算LCC（価格点B）		20点	20.00点	0.00点
総合評価点			200点	156.00点	149.61点

※ 実施体制（受注実績の一部を除く）及び技術提案の評価点について、審査員一人ずつがテーマごとの配点で採点を行い、平均値を評価点とした。

※ 価格点Aは、ES事業期間における水道光熱費を含まない事業費の総額について、下記計算式により評価点を算出した。

$$\left(\text{価格点A} \right) = \left\{ 50 - \left(\frac{x - m}{m} \right) \times 100 \right\}$$

m : 参加希望者のうち最も低い見積価格
 x : 見積価格(ただし、 $x > 1.2 \times m$ の場合、 $x = 1.2 \times m$ とする)

※ 価格点Bは、ES事業期間における水道光熱費を含む事業費の総額について、下記計算式により評価点を算出した。

$$\left(\text{価格点B} \right) = \left\{ 20 - \left(\frac{y - P}{P} \right) \times 200 \right\}$$

P : 参加希望者のうち最も低い見積価格
 y : 見積価格(ただし、 $y > 1.1 \times P$ の場合、 $y = 1.1 \times P$ とする)

イ) 最後に、出席した全委員で総合評価点を確認し、審査委員会の総意として、総合評価点が最も高かったA者（日本ファシリティ・ソリューション株式会社）を優先交渉権者に特定し、B者（東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社）を次点者に特定しました。

4 審査の講評

(1) 全体の講評

新病院の建設にあたっては、建設地が日本有数の豪雪地帯であり、年間約7メートルの降雪量があることや、厳冬期には最低気温が連日 -10°C 前後にまで下がるため、エネルギー供給の安定性や設備の信頼性がより求められます。これに加え、昨今のエネルギー価格や建設費の高騰が続く現状を踏まえ、高効率かつ省エネルギー性能の高い設備の設置が必要と考えられることから、本プロポーザルにおける評価に際し、15年間の維持管理費を含むエネルギーサービス事業費に加え、病院事業が負担する水道光熱費も含む事業費の提出も求めることにしました。

このような状況の中、2者から意欲的な技術提案書等が提出されたことに対して心から感謝し、審査委員会として真摯に審査に取り組みました。

全体として、本プロポーザルに参加していただいた2者のいずれにおいても、業務を実施するうえでの十分な体制を有していると評価されました。また、技術提案についても、安定的にエネルギー供給が継続できる信頼性に優れた設備や環境負荷低減への取組等について提案されており、本事業が直面する課題への解決策として十分な配慮がされていました。

(2) 個別の講評

○優先交渉権者：A者（日本ファシリティ・ソリューション株式会社）

全国的に見ても設備工事会社選定に難航する北海道において、設備工事会社と協働した提案や、新病院から15分以内の場所に拠点を設けて週1回の定期巡視を行うことで、担当者同士の顔が見える関係性を構築する体制が提案されました。

ガス途絶時等の非常時に対する配慮が足りない部分がありましたが、高効率ターボ冷凍機の採用や、各機器の排熱利用によるガス消費量の削減など、省エネルギー性を重視したシステムの提案が評価されました。

加えて、経済性において相対的に高く評価されたことにより、優先交渉権者として特定されました。

○次点者：B者（東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社）

プレゼンテーションはわかりやすく要点が捉えられており、質問に対する受け答えも的確に対応されていました。

機器の開発から提案者自らが携わることで機器のウィークポイントを十分に把握し、その知見を活かした故障リスク低減に向けた取組のほか、提案者が独自開発した最適自動制御システムによる省エネ対策について評価されました。

一方で、運営・維持管理費が高額であったことから、経済性の評価においてはA者には及ばず、次点者となりました。